

建築用シーリング材

2成分形変成シリコン系シーリング材

シャープシーリング

M-2

シャープシーリング

M-2NB



ノンブリードタイプ

シャープシール M-2・M-2NB

シャープシールM-2・M-2NBは、高耐久・耐候性を有し、且つ安定した施工品質を持ち、当社の高い技術力を結集した建築用2成分形変成シリコン系シーリング材です。ノンブリードタイプも揃えております。

JIS A 5758 建築用シーリング材のクラスF-25LM・耐久性9030に合格しています。

特長

- **高耐候・耐久性発揮**
高耐候性を有し、長期に渡り多種の目地に安定した耐久性を発揮します。
- **安定した接着性**
所定のプライマーを使用することで、各種の被着体に接着します。
- **優れた塗装適正 (M-2NB)**
ノンブリード商品部の技術蓄積をベースに開発した製品のため、各種建築用塗料との相性が良好です。
- **施工品質良好**
低温施工性に優れ、短期で硬化し、目地の動きに追従します。

用途

- 金属カーテンウォールパネル目地
- PCaカーテンウォールパネル目地
(石材打込みPCa目地、サッシまわり目地)
- コンクリート壁目地
- タイル張り目地
- 外装パネル目地

性状

	シャープシールM-2	シャープシールM-2NB
タイプ	2成分形変成シリコン系シーリング材	2成分形変成シリコン系ノンブリードタイプシーリング材
JIS A 5758	F-25LM-9030 (MS-2)	F-25LM-9030 (MS-2)
主剤 : 硬化剤 : カラー	ペースト状 : ペースト状 : ペースト状	ペースト状 : ペースト状 : ペースト状
混合比(重量比)主剤 : 硬化剤 : カラー	10 : 1 : 0.43	10 : 1 : 0.45

性能

			シャープシールM-2	シャープシールM-2NB	
スランプ(mm)	縦	5°C	0	0	
		50°C	0	0	
	横	5°C	0	0	
		50°C	0	0	
弾性復元性 (%)			95	95	
引張特性・引張応力 (N/mm ²)			23°C	0.2	0.2
			-20°C	0.2	0.2
定伸長下での接着性			23°C	合格	合格
			-20°C	合格	合格
圧縮加熱・引張冷却後の接着性			合格	合格	
水浸せき後の定伸長下での接着性			合格	合格	
体積変化 (%)			3.0	5.0	
耐久性 (9030)			合格	合格	

JIS A 5758 に基づく

		シャープシールM-2	シャープシールM-2NB	
密度		1.31	1.27	
押し出し性(秒)	5°C	4	4	
	23°C	2	2	
可使時間(時間) 季節対応品使用	5°C	5	5	
	23°C	4	4	
	35°C	2	2	
タックフリー(時間)		23°C	6	6

JIS A 1439 に基づく

引張接着性

		シャープシールM-2	シャープシールM-2NB	シャープシールM-2	シャープシールM-2NB	シャープシールM-2	シャープシールM-2NB	シャープシールM-2	シャープシールM-2NB
		50%引張応力 (N/mm ²)		最大引張応力 (N/mm ²)		最大の伸び (%)		破断時の伸び (%)	
養生後	23°C	0.14	0.12	0.52	0.39	760	800	770	810
加熱後	23°C	0.16	0.14	0.73	0.44	660	720	680	730
水浸せき後	23°C	0.14	0.10	0.44	0.33	720	830	740	850

■ 使用プライマー : P-32 ■ 被着体 : アルミ

2成分形変成シリコン系シーリング材

■ 仕上げ塗材の付着性と汚染性

分類	通称例	付着性		汚染性	
		M-2	M-2NB	M-2	M-2NB
薄付け仕上げ材	アクリル(樹脂)リシン	○	○	○	○
	弾性リシン	○	○	△	○
複層仕上げ材	シリカタイル	○	○	△	○
	弾性吹付けタイル	○	○	△	○
厚付け仕上げ材	樹脂スタッコ	○	○	○	○
水性塗料	水性系ペイント	○	○	△	○
溶剤系塗料	溶剤系ペイント	△	○	△	○
油性塗料	油性系ペイント	×	×	×	×

■水性ペイントは、はじきに注意。

■油性やフタル酸の酸化重合型塗料を塗布すると、塗料が乾きません。

●付着性：仕上げ塗材の付着の程度

○：良好 △：可 ×：不可

●汚染性：施工された仕上材の軟化、変色などの汚れの程度

○：良好 △：若干汚染する ×：汚染する

※表は一応の目安であり、仕上げ塗材の成分・メーカーによりバラツキが生じることがあるので必要に応じてご確認ください。

■ 専用プライマー

適用被着体	商品名	備考
コンクリート、ALC、アルミ	プライマー P-50	耐候黄変性なし
アルミ・コンクリート	プライマー P-32	耐候黄変性なし(低粘度タイプ)

■ 目地設計

設計伸縮率及び設計せん断変形率(%)

M-2・M-2NB (耐久性9030)	伸縮		せん断	
	M1	M2	M1	M2
	20	30	30	60

M1：温度によるムーブメントを考慮する場合。

M2：風、地震、振動を考慮する場合。

設計目地幅及び目地充填深さの許容範囲の標準

目地幅の許容範囲	最大値	40mm※	目地深さの許容範囲	最大値	30mm
	最小値	10mm		最小値	10mm

※目地幅が30mm以上の場合は、目地構造又は2度打ち等を考慮して下さい。

■ シャーピーシールM-2・M-2NBの打継ぎ性

後打ち \ 先打ち	PS-2	MS-2	PU-2	MS-1
シャーピーシールM-2・M-2NB	◎ (P-32・P-50)	◎ (P-50・P32)	◎ (P-50・P32)	◎ (P-50・P32)

◎：打継ぎ可能 ○：打継ぎ可能(但し、新しい面に打継ぐことが必要である。)

()：使用プライマー

※：打ち継をする際は必ず事前に確認を行ってください。

■ 使用量

M-2・M-2NB / 4L当たりの概算施工m数(ロス率20%)

D \ W	10	15	20	25	30	40
10	32	21.3	16	12.8		
15			10.6	8.5	7.1	
20				6.4	5.3	4
25					4.2	3.2

● W：目地幅 D：目地深さ

■ プライマー1缶(500g)当たりの概算施工m数

金属面(ロス率30%)

D \ W	10	15	20	25	30	40
10	175	175	175			
15			116	116	116	
20				87	87	87
25					70	70

●多孔質面への使用量は、金属面の1/2として概算して下さい。

● W：目地幅 D：目地深さ

■ 施工手順及び管理

1 事前検討及び施工準備

2 施工前検査

3 下地の清掃、乾燥

4 バックアップ材、
ボンドブレイカーの装てん

5 マスキングテープ貼り

6 プライマーの塗布

7 2成分の混合

8 コーキングガンへの充てん

9 シーリング材充てん

10 ヘラ仕上げ

11 マスキングテープ除去

12 目地周辺の清掃

13 検査・確認



●シャープシーリングM-2・M-2NB (4Lセット)
●コーキングガン●ノズル●マスキングテープ●はけ
●ヘラ●手袋●カッターナイフ●バックアップ材(丸、角)●プライマー P-50 (缶入タイプ) 別売り

	容量 / 荷姿
シャープシーリングM-2	4Lセット(主剤・硬化剤・カラー)×2/ケース
シャープシーリングM-2NB	4Lセット(主剤・硬化剤・カラー)×2/ケース
プライマーP-50	500g×10缶/ケース
プライマーP-32	500g×10缶/ケース

■カラーペースト: 200g

■ 注意事項

- できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて手袋などの保護具を着用して下さい。
- プライマーの取扱時には、火気や静電気に注意し、十分に換気をよくしてお使いください。また必要に応じて有機ガス用マスク、保護眼鏡をご使用ください。
- プライマーは火気厳禁(第四類第一石油類)ですので、高温になる車中等に放置しないで下さい。
- 廃棄物は、産業廃棄物として処理して下さい。
- 目に入った場合は、速やかに多量の水で洗い、必要に応じて医師の診察を受けて下さい。
- 誤って飲み込んだ場合は、多量の水を飲ませて吐き出させて、速やかに医師の診察を受けて下さい。
- 子供の手の届かない冷暗所に保管して下さい。
- 本品は建築用に開発された製品ですので、本用途以外には絶対に使用しないで下さい。
- 製品の詳細は、SDS(安全データシート)をご参照ください。

■ 留意事項

- プライマーの塗布ムラがあると十分な接着が確保できませんので、塗ムラのないように塗布して下さい。
- シーリング厚みが2mm以下の場合、薄層未硬化現象(薄く施工したシーリング材は硬化しない。)を生じる恐れがある為、施工時にはマスキングテープを目地縁線一杯に貼って下さい。
- 混合時はエアの巻き込みに注意し、目地底までコーキングガンで十分に充てんして下さい。
- 硬化条件により、硬化後表面にタックが残り、光沢ムラが生じることがあります。
- 大理石、ガラスを用途としていません。

★お客様へ

本カタログに記載している情報及びデータは、当社の実験によるデータです。ご使用に際しては用途に適合するか事前にご確認願います。また、この資料の記載事項は、予告なく変更する場合がございますのでご了承ください。



■本社・工場
〒592-8352 大阪府堺市西区築港浜寺西町13-12
TEL.072-268-0322 FAX.072-268-3119
<http://www.sharpchem.co.jp/>
info@sharpchem.co.jp

0120-34-0321

- 高砂事業所
TEL.072-268-0321 FAX.072-268-0326
- グローバルセンター
TEL.072-268-0323 FAX.072-269-2810
- 東京営業所
TEL.03-3649-8103 FAX.03-3646-6011
- 札幌出張所
TEL.011-598-6814 FAX.011-598-6824